

第9回 日本免疫毒性学会(静岡)

JSIT 2002 Shizuoka

特別講演:

1) 「環境因子に対する粘膜免疫のユニーク性と免疫毒性」

清野 宏 (阪大医・微研)

2) 「侵襲抗原による粘膜免疫担当組織の傷害」

名倉 宏 (東北大医・名倉教授・病理)

会長講演:

「環境化学物質による胸腺免疫の病的老化—その免疫生化学的アプローチ」

荒川泰昭 (静岡県立大・公衆衛生)

会期: 2002年9月19日(木)~20日(金)

会場: グランシップ GranShip

Shizuoka Convention & Art Center (JR静岡駅前)
〒422-8005 静岡市池田 79-4
TEL: (054)203-5713 FAX: (054)203-6710

共催: 日本衛生学会、日本微量元素学会、
日本薬学会、日本産業衛生学会

協賛: 日本トキシコロジー学会、日本毒性病理学会、
(財)日本健康・栄養食品協会

一般演題発表

口演発表とポスター展示発表 (演題応募中)

演題原稿申込方法

1) オンラインの場合(2002年7月31日(水)締切)

URL: <http://jsit.umin.ne.jp/2002/>

2) 郵送・Eメールの場合(2002年7月15日(月)締切)

E-mail: jsit2002@u-shizuoka-ken.ac.jp

主要テーマ

「免疫の病的老化」—環境因子による粘膜免疫および胸腺免疫の病的老化

「保健機能食品と免疫—その有用性と安全性」

「環境化学物質の免疫系からみた安全性評価」

シンポジウム

「環境・化学物質・免疫毒性」

—金属・ダイオキシン・喫煙・ディーゼル排気—

講演者(櫻井昭明、野原恵子、別役智子、藤巻秀和)

ワークショップ

「医薬品の免疫毒性評価の進め方、考え方」

—製薬協共同研究—

講演者(中村和希、澤田純一、中澤隆弘、小林孝好)

ランチョンセミナー

1) "Regulatory immunotoxicology and immunopharmacology in non-clinical drug development"
— Dr. Mark Wing — (England)

2) "Routine immunotoxicity testing of pharmaceuticals: Lessons from the first two years"
— Dr. Albrecht Poth — (Germany)

教育講演

「免疫能パラメーターを動かす環境抗原—その有用性と安全性」

1) 「機能性食品と免疫」

上野川修一 (東大農・生命科学)

2) 「微量環境化学物質の免疫系からみた安全性評価—とくに亜鉛とダイオキシンのヒト免疫毒性と発癌性」

私田 攻(埼玉医大(東大医・名譽教授)・衛生学)

お問い合わせ

第9回日本免疫毒性学会事務局

〒422-8526 静岡市谷田 52-1
静岡県立大学・食品栄養科学部・公衆衛生学研究室内
大学院・生活健康科学研究所・生体衛生学研究室内
大会会長 荒川 泰昭
TEL&FAX: 054-264-5563
E-mail: arakawa@u-shizuoka-ken.ac.jp